

柏崎刈羽原発の再稼働に関する花角知事の判断に対する
市長コメント

この度、花角知事が柏崎刈羽原子力発電所の再稼働を了解したことについては、これまで知事のリーダーシップのもと新潟県において技術委員会による確認や県民意識調査の実施など、様々な取り組みを丁寧に行い得られた多様な意見や要望を踏まえ、この時期に知事が判断したものと考えます。

今後、再稼働となった場合には、東京電力として福島第一原発の事故後、初の再稼働となることから、知事とのブロック別懇談会でお伝えした通り、東京電力に対する県と国の厳しい監視・監督の継続や、広域避難計画の実行性の確保に向けた避難道路の整備や避難所の環境整備、原子力防災に関する県民への丁寧な情報発信及び事故時における市町村への適時適切な情報伝達、原発依存度の低減に向け、老朽化し稼働の見込みが立たない原子炉の廃炉を東京電力に求めることなどの要望について、引き続き実現に向けて取り組みを進めていただきたいと考えています。

令和7年11月21日

新潟市長 中原 八一